

### 留学成果を道内でワインに携わる方々へ ～北海道ワインアカデミーで留学成果を報告～



2020年12月に開催された道主催の「北海道ワインアカデミー」で第3期生（未来の匠コース）の鹿野皓己さんが、みらチャレを活用したドイツ留学について報告しました。

醸造コースの13名の受講者を前に、ドイツで学んだワインの仕込みのプロセスや細かな作業について、スライドと動画も絡めて説明を行い、醸造技術の日本との違いや、帰国後に北海道でも活かすことのできるような技術や知識を学んだことなどを報告しました。

また、留学中にブドウの収穫体験を行ったことや、季節ごとのイベント、レストランや大衆食堂を訪れ、現地の方のドイツならではのワインの楽しみ方を一緒に体感でき、道のワイン産業に活かせる知見を発見できたことを伝えていました。

### 広報委員会パブリシティ賞を受賞 ～（公社）高分子学会主催、高分子の研究開発に貢献～

#### 生分解性開始スイッチ機能を有する生分解性多層材料の開発 ～生プラ、実用化に一步前進～

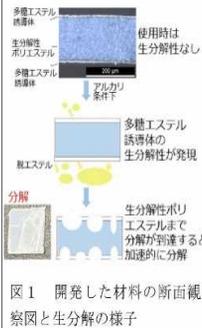
東京大学 大学院農学生命科学研究科 立岩文武、岩田忠久 ☎ 03-5841-5266  
学会発表番号 2Pb080

##### <研究成果のポイント>

- 使用中は分解されないが、アルカリ環境下に流出すると、生分解が開始する生分解性プラスチックを開発
- 海洋プラスチック問題の解決策の一つとして期待

##### <研究成果の概要>

近年海洋プラスチック問題が深刻化する中、海洋生分解性プラスチックの開発・実用化が求められています。しかし、高い生分解性を持つ材料は、使用中に生分解が始まってしまうおそれがあります。本研究では、高い生分解性を持つ生分解性ポリエステルを、生分解性を一時的に失った多糖類エステル誘導体で被覆することで、使用時は生分解されないものの、アルカリ条件下にさらされたときに生分解が開始する材料の開発に成功しました。この材料は弱アルカリ性である海洋中に流出した場合、生分解性が発現することから、海洋プラスチック問題の解決策の一つとなることが期待されます。



2021年5月に（公社）高分子学会主催の広報委員会パブリシティ賞において、第2期生（学生留学コース）の立岩文武さんの研究が選ばれました。

高分子の研究開発に大きな影響を与える研究発表について選定され、授与されたものです。

立岩さんの研究発表（共同研究）は、「生分解性開始スイッチ機能を有する生分解性多層材料の開発」ということで、海洋プラスチック問題の解決策の一助となることが期待されています。

今後の研究が順調に進み、日本、北海道の環境問題解決につながることを期待しています。

### 2Pb080 多糖エステル誘導体とP(3HB-co-3HHx)からなる積層材料作製と生分解性評価

東大院農 ○立岩 文武、木村 聡、甘 弘毅、岩田 忠久



### 2021駐札幌大韓民国総領事館SNSサポーターズに選ばれました



2021年7月に第3期生（学生留学コース）の海辺菜々美さんが2021年駐札幌大韓民国総領事館SNSサポーターズに選ばれました。

北海道SNSサポーターズは、北海道在住で韓国や韓国文化に関心を持つ大学生や社会人6人が選ばれ、SNSで韓国の魅力を北海道に伝えるとともに、北海道の魅力を韓国に伝える双方交流を担っていくこととなります。

海辺さんには、これまでの経験とともにみらチャレ留学でも培った情報発信力を活かして、北海道と韓国の架け橋になっていただきたいです。

Instagramアカウント：@koreasapporo

